

新しい夢・希望

自転車活用の推進に向けた環境整備

近年、健康意識の高まりやサイクルツーリズムを通じた地方創生の取り組みの活性化により、自転車活用の動きが高まっています。自転車が広く県民の暮らしに浸透していくよう、「いばらき自転車ネットワーク 自転車通行環境整備ガイドライン」を策定し、自転車空間の整備を推進しています。



ナショナルサイクルートの整備

左記のいばらき自転車ネットワークのうち、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」は令和元年11月、国よりナショナルサイクルートに指定されました。日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートとして、さらなる自転車通行環境の整備を推進していきます。



○走行環境の整備

ナショナルサイクルートの指定要件として「迷わず安心、安全に走行できる環境が整備されている」ことが挙げられております。つくば霞ヶ浦りんりんロードでは、利用される方のさらなる安心・安全のため、整備を推進していきます。



矢羽根の設置



案内看板の設置

○受入環境の整備

サイクリングの出発地点となる主要アクセスポイント(鉄道駅、道の駅等)やルート沿線の各地点において、サイクリストが快適で安心してサイクリングを楽しむことができるよう、休憩施設等の整備を推進していきます。



虫掛休憩所(R4)



筑波休憩所(R5)

(注1) ネットワークを構成する路線は、関係機関との調整等により変動する場合があります。また、今後の自転車活用の進展に応じて、ネットワークの拡充を図ります。
(注2) 鬼怒・小貝リバーサイドルート(仮)については、別途、鬼怒川・小貝川まちづくり推進協議会で計画中です。
(注3) つくば霞ヶ浦りんりんロードはつくば霞ヶ浦りんりんロードを含む。